

オープンキャンパスで募りましたご質問への回答について

推薦の面接では、どの学科に入りたいかという質問はされますか。

(回答)

推薦選抜における質問内容についてはお答えすることはできません。

ただし、推薦選抜では、出願の際に志望する分野を明記していただきます。第一志望の分野のほかに第二志望・第三志望の分野も書くことができます。仮に第一志望で不合格になっても、第二志望・第三志望で合格となる場合があります。

また、本校では最終的な分野配属は、第2学年進級時に決定します。第1学年で全分野の内容を学んでもらい、分野を選択してもらいますが、推薦選抜での第一志望分野と異なる分野へ進級する学生もいるため、極力第二志望・第三志望の分野も願書に記載していただければと思います。

少なくとも数学、理科で評定4.5を取らないと、推薦選抜は難しいでしょうか。

(回答)

推薦選抜の合格者の成績は公表していません。年度や分野によって合格最低点は異なります。なお、推薦選抜を受検するには、第三学年の全科目が5段階評定「3」以上で、かつ平均3.67以上であること、在籍中学校長からの推薦書が提出されることが要件となります。

例年どの分野が人気ですか。

(回答)

学力選抜および特別推薦選抜では、創造工学科として受検していただくので、受検時の人気は分かりません。推薦選抜は、年度により傾向は異なります。分野ごとの入試倍率は、ホームページでご確認ください。

推薦で入学した場合、最初に希望した分野とは異なる分野への配属を希望することは可能なのでしょうか。

(回答)

可能です。ただし、この場合は、推薦選抜入学者への配属の優遇措置は受けられませんので、ご注意ください。一年次の学業成績(単位数に応じて傾斜配点)の平均点が高い学生から順に希望分野への配属が決まります。

推薦か特別推薦での受検を考えています。推薦と特別推薦での合格率と、どちらも受検可能な場合、どちらで受検した方がいいのか教えて欲しいです。

(回答)

ここ3年間の推薦選抜の志願倍率は分野によって異なりますが、合計数では平成30年度が0.8倍、令和元年度が1.0倍、令和2年度が0.7倍となっています。一方、特別推薦は同じく、0.2倍、0.3倍、0.4倍と推移しています。推薦選抜による入学者には、2年に上がる際、第1志望分野に優先的に配属される制度がありますが、特別推薦による入学の場合には、その優遇措置はありません。その点もお考えいただき、お選びください。

男子ソフトテニス部について、様子を教えてください。

(回答)

2年生7名で、部活再開を待っています。1年生は部活再開してからの入部になります。3,4年生は、今年度の大会がないので一時休部としています。来年度の高専大会に向けて、次年度復活すると思われま。

高専大会は、北海道地区大会では実力が伯仲しており、釧路高専も団体戦、個人戦とも全国大会に進める可能性は大いにあります。

高校の大会では、個人戦で北海道大会に進むペアが毎年います。団体で北海道大会に進んだ年もあるのですが、最近は無沙汰しております。

将来は自動車関連の仕事につきたいのですが、機械工学分野では、自動車関連の学習はありますか。

(回答)

「小型エンジンの分解組立てと構造理解」、「熱機関の燃焼性」、「自動車の空力特性と強度耐久性」この他にも、空気抵抗や振動、部品の加工や溶接などの学習があります。また、自動車会社からほぼ毎年、採用案内が届いています。

機械工学を学びたいと考えていますが、コンピュータなどは、学校の授業で使う程度で詳しくありません。パソコン操作は、こういったレベルまで必要でしょうか。

(回答)

1年生でネットワークやメール、ワード、エクセル等の使い方やマナーを学習します。2年生以上では、パソコンを使用してコンピュータを動かす学習や、パソコンを使った製図(3次元CAD)や部品の加工法などを学びます。いずれもソフトを使用し、基礎から学習します。ワードやエクセル等のソフトの使用に慣れておくとよいかもしれません。

建築学分野から北海道大学へは毎年どれくらい進学していますか。

(回答)

今年を含めて直近5年間で3名が編入学しています。なお進学は国立大学が大半です。

建築学分野では、どの科目で評定5を取れば上手く出来ますか。

(回答)

建築学分野は、幅広く様々ことを学びます。好きな科目の実力をつけてください。評点5にこだわらなくて良いです。得意な科目が数学であれば、建築構造に関わる講義に十分対応できますし、デザインが得意であれば、建築設計に関わる演習に十分対応できます。

寮には、常に大人が常駐していますか。

(回答)

常駐しております。基本的に平日(授業日)の日中は、学寮の事務が2名おります。また、休日は当直が日中、夜間とも2名おります。基本的にそのうち1名は教員で、もう一名は外部委託している警備員となります。ただ、今年度から日中の当直(日直)につきましては、原則として日曜日は2名とも警備員を入れて学生のサポート、非常時の対応を行っています。

先輩後輩関係の実態はどうなっていますか。

(回答)

上下関係が少なからずともあります。釧路高専に限らずどの高専も慣習的なものがあり、低学年は我慢を強いられることがあることは間違いありません。ただ、一昔前の理不尽な使役のようなものは現在ではありません。また、一方的に暴力を振るわれることも当然ありません。そういった環境の中、同じ学年力を合わせて頑張るよう指導しています。昨年度、1年生は数名退寮していますが、その理由は上下関係の悩みではなく、同学年内の人間関係や自己都合による場合がほとんどで、自己解決に至らない場合に退寮を決意することがあります。また、できるだけ部活動に入るように寮生会が指導をしていますが、義務ではありません。体育会系の声の大きな先輩もいれば、思いやりのある優しい先輩もいます。多くの先輩方と知り合いになることも充実した寮生活を送るための一つの方法でしょう。

子供には、非常に不注意な面が多く、寮に入り集団生活ができるのか、学習についていけるのか不安です。

(回答)

様々な障がいを抱えて寮生活を送っている学生も若干おり、入寮前に相談を受けることもたびたびあります。こちらで注意できることはできるだけ目を配りますが、24時間の監視、サポートは非常時を除き現実的には難しいところがございます。自分の特性と向き合いながら立派に成長していく学生も多くおりますので、本人が前向きに寮生活を望んでいるのであればぜひ背中を押していただけたらと思います。いずれ社会に出てもまれていくことにもなります。寮生活で自立(自律)がうまくいけば、本人の大きな自信につながることは間違いないでしょう。1年生はみんな不安を抱えて入寮してきますが、一月くらいたつと、寮生活にも慣れて、友達もでき、しっかりと学寮生活が送れるようになってきます。ご心配な不注意な部分については、その程度がわかりかねますので、似たような特性の学生もそれなりにおります。同じ寮生同士でサポートし合いながら共同生活を送っていく寮生も多くおりますことを申し添えさせていただきます。

釧路高専は大楽毛にあり、ハザードマップを見ると津波の浸水予想区域に入っています。学校としては何か対策等はされていますか？高台も少し離れているようですし、津波の予想高さも高いので、入学するのが少し不安です。

(回答)

ご指摘の通り、高専の所在地である大楽毛地区は津波の浸水地区にあります。本校を含め学寮は海拔8.4mの高さに位置しており、現在想定されている最大級の津波が生じたとしても、校舎の3階または4階に避難することで安全を確保できます。また、今春、内閣府により想定される津波の高さが見直され、釧路市に隣接する釧路町の海岸では地形の影響もあって27mを超えることが予想されました。この内閣府の発表にともなうハザードマップの見直しは、北海道庁を経て釧路市に下ろされるようですが、現在まだその情報が来ていないようで、釧路市も見直しをかけていない状況です。しかし、市の担当者に確認したところ、大楽毛地区は広い砂浜が続いている地形なので、大きく津波の高さが変わることはないでしょうというコメントをいただいております。なお、夜間に津波警報が出た場合などは、校舎までの移動に危険が伴うことも考えられます。このため学寮各棟の屋上に避難できる対策を高専機構に繰り返し要望しているところです。

e スポーツの大会はどのゲームの大会ですか。

(回答)

部活動としては、全国高校eスポーツ選手権ロケットリーグ部門に出場しています。部員達は、メンバーが集まるなら、リーグオブレジェンドなど、ほかの大会にも出場してみたいと言っています。また、部活動としてではなく、個人で大会に参加している学生もいます。

ゲーム関係の仕事に就く場合はゲーム同好会に入ったほうがよろしいでしょうか。

(回答)

ゲーム同好会（本校のゲーム開発研究会）に入れば、Unity インターハイや GGJ へ参加しているため、ゲーム開発スキルを身に着ける機会ができます。GGJ はプロのゲームクリエイターと一緒にゲーム開発が行える機会でもあります。ゲーム関係（主にゲームプログラミング系やデザイン系）の仕事に就く場合は自作した作品を企業へ提出する必要がありますので、同好会に所属してスキルを磨きながら、自分の作品を制作してもよいと思います。ただ、同好会に入らず、個人でゲーム制作を行う学生もいます。